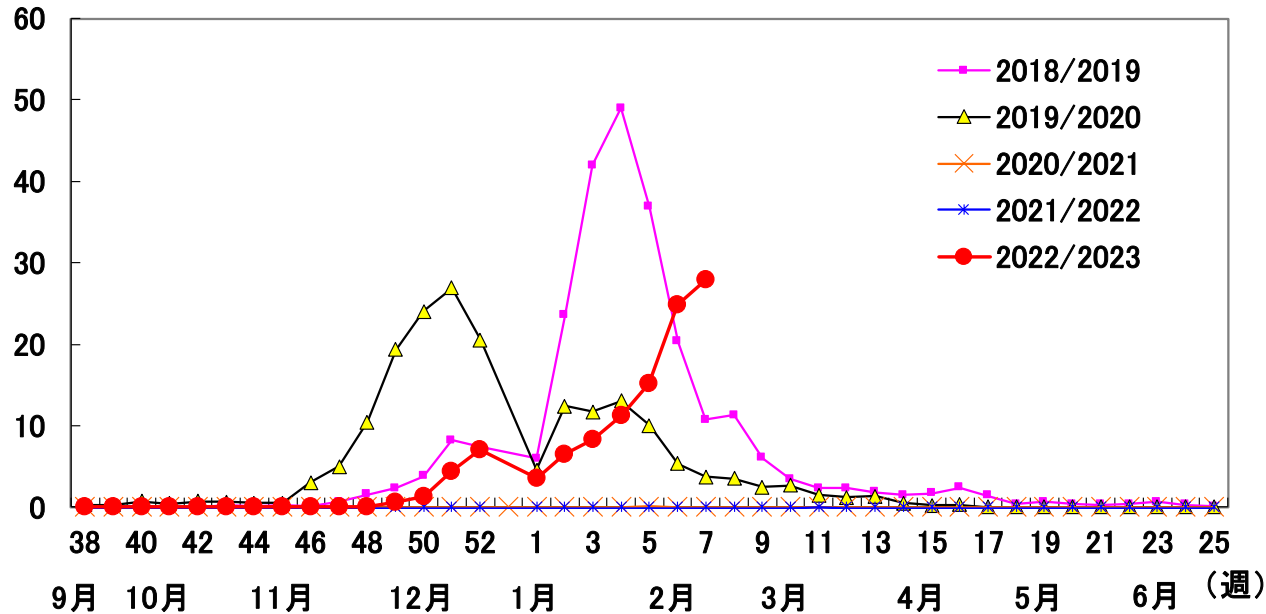


インフルエンザの発生状況(富山県)

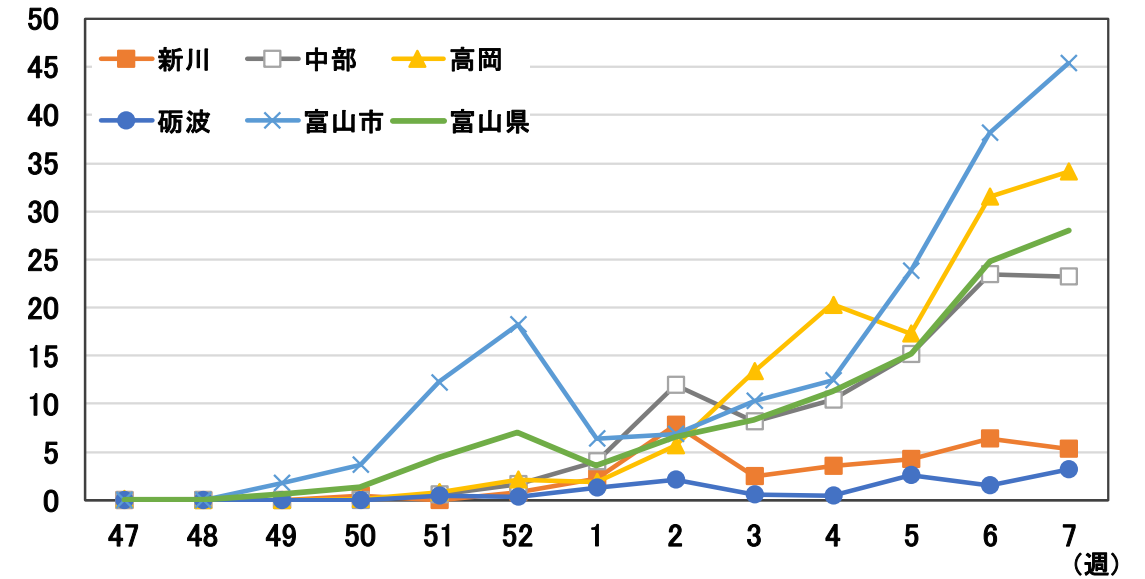
【第7週(2023/2/13~19) 感染症発生動向調査速報値 (2023/2/22時点)】

(人/定点)

図1. 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 今週の報告数は**27.98**人/定点となり、先週 (24.85) から増加した。県内の報告数は今後も増加する可能性がある。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、富山市、高岡、砺波管内で先週より増加した。富山市 (45.31人/定点)、高岡 (34.08人/定点) では警報レベルである30人/定点を超えた状況が続いている。

図3. 年代別割合(富山県、第7週)

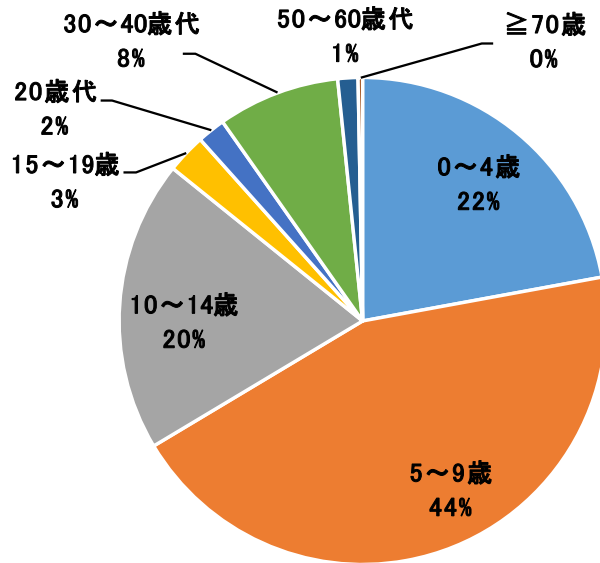
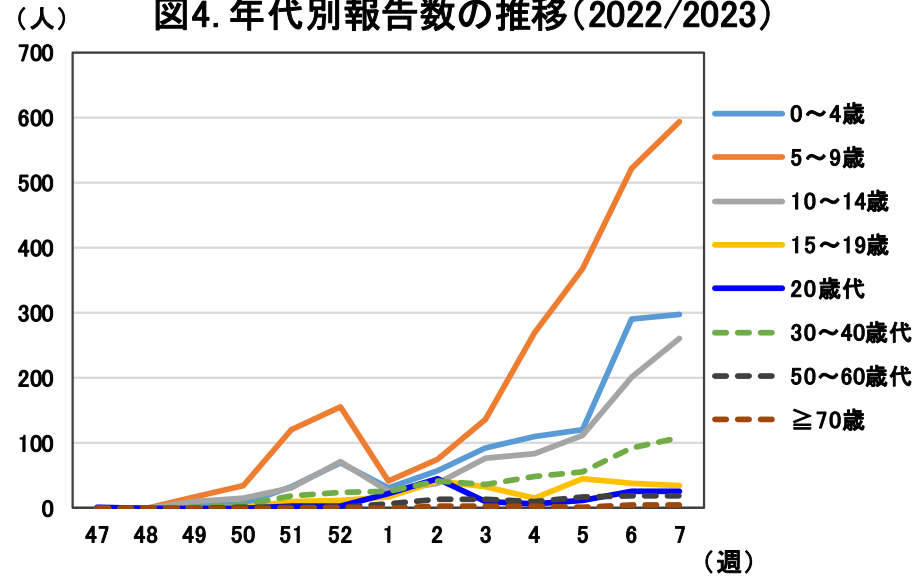


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第7週の年代別割合 (図3)では、15歳未満の小児が86%を占めた。
- 年代別報告数の推移 (図4) では、5~9歳 (橙色)、10~14歳 (灰色) の報告数が先週に引き続き増加した。50歳代以上は先週と変わらず低値であり、15歳未満の小児の割合が高い状況が継続している。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は第7週に幼稚園2施設、小学校25施設、中学校5施設で報告されており、引き続き小学校での感染が拡大していると考えられる。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第6週)

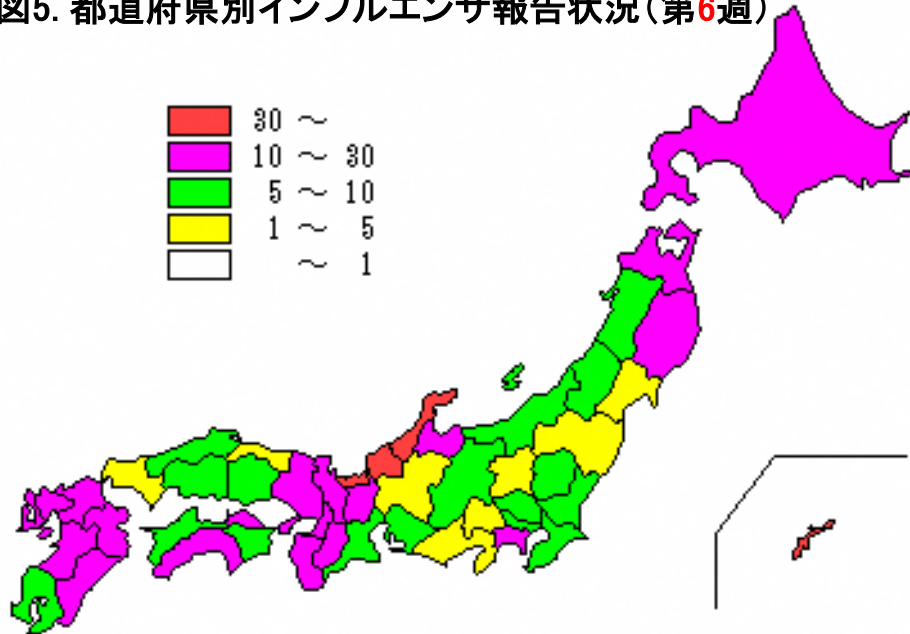
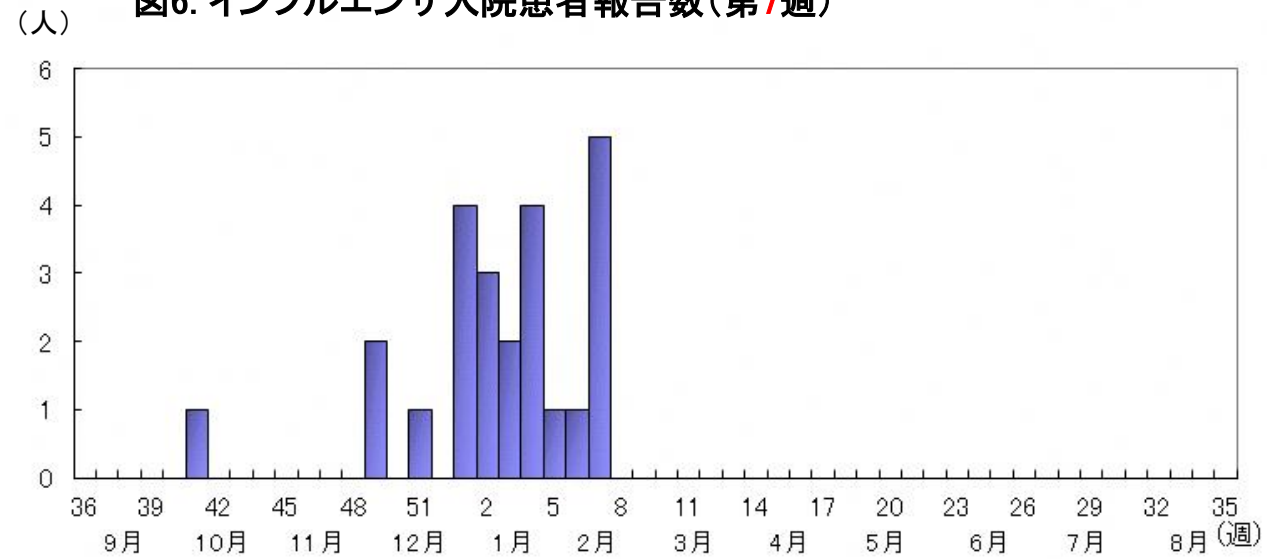


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第7週)



- 全国では第6週に12.91人/定点となり、第5週（12.66）から増加した。都道府県別（図5）では、22道府県で10人/定点を超えた。また、石川県、福井県、沖縄県では警報レベルである30人/定点を超えた。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第7週に5例の報告（60歳以上2例、30歳代1例、幼児2例）があった。